

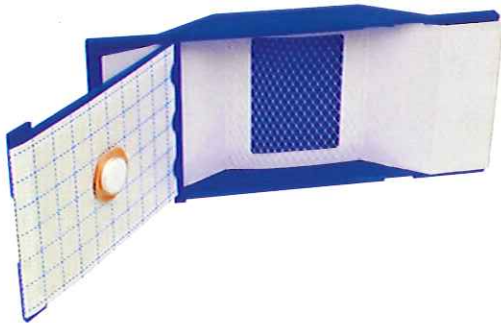


TORIOS®

トリオス

徘徊性貯穀害虫を対象にしたモニタリング汎用トラップです。

トラップは粉塵が入りにくい構造で、食品工場・製粉工場・飼料工場・倉庫などで使用できます。このような場所には徘徊性貯穀害虫(コクヌストモドキ・ヒラタコクヌストモドキ・ノコギリヒラタムシ・コナナガシンクイ等)が生息しています。



トリオスに利用できる誘引剤

- ①コクヌストモドキ
- ②ヒラタコクヌストモドキ
- ③コナナガシンクイ
- ④ノコギリヒラタムシ

リユース型モニタリングトラップ

トラップ本体と粘着紙を別にし、トラップ本体のリユースを実現しました。

自然分解性トラップ

地球環境への負荷に配慮して、トラップを自然分解性プラスチックにしました。粘着紙と誘引剤のみの交換により、ゴミの排出量を大幅に軽減しました。

汎用トラップ

誘引剤の種類を替えるだけで、多くの徘徊性貯穀害虫用モニタリングトラップとして利用できます。

操作性の高いトラップ

昆虫の捕獲方法を従来のオイル方式から粘着方式にして操作性を向上させました。捕獲昆虫のカウント及び粘着紙の交換が容易です。

製品仕様

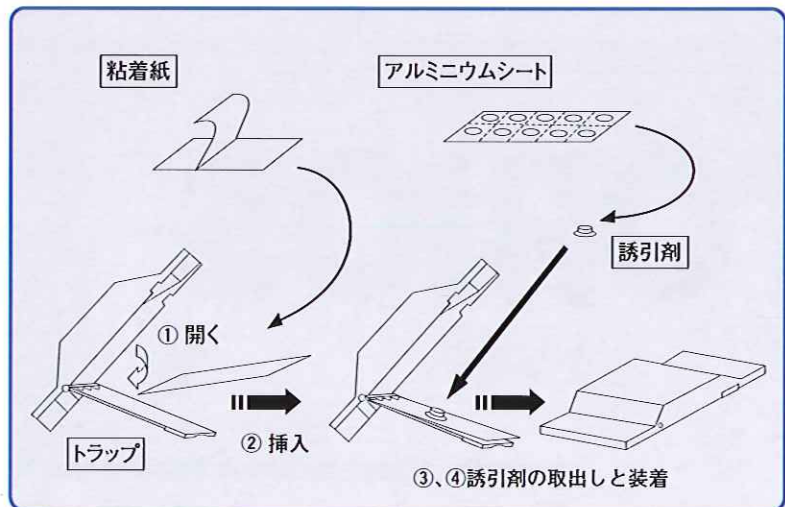
トラップ本体セット

- ・ トラップ本体 50個
- ・ { 誘引剤 5シート：50錠
- ・ 粘着紙 50枚

誘引剤セット

- ・ { 誘引剤 5シート：50錠
- ・ 粘着紙 50枚

※ノコギリヒラタムシ用のみ2種類の誘引剤(集合フェロモン剤・食物誘引剤)から構成されています。



使用方法

この商品は床置き型発生予察用トラップです。

《トラップの組み立て方》—右上図参照

- ① トラップの底蓋を開けて下さい。
- ② 底蓋に剥離紙をはがした粘着紙を差し込んで下さい。
- ③ アルミニウムシートから、誘引剤を1個取り出して下さい。
(注) 誘引剤の透明なフィルムを破らないで下さい。フィルムが破れますと本来の誘引性能が損なわれる恐れがあります。
- ④ 誘引剤を粘着紙の中央に貼り付けて蓋を閉めて下さい。

《トラップの配置方法》

- ① 配置場所：床面に配置して下さい。
徘徊性貯穀害虫は壁際の床面を徘徊することが多いため、この場所に配置するのが効果的です。
- ② 配置間隔：トラップを5～10mに配置することをお勧めします。
徘徊性貯穀害虫はもともと集合する習性があるため、トラップの配置間隔を広くすると捕獲効率が低下します。

《トラップの交換間隔》

粘着紙と誘引剤は1ヶ月ごとに交換して下さい。
トラップ本体は3年以上繰り返し使用できます。ただし、屋外で使用すると光や水で劣化が生じるのでご注意ください。

保存方法

粘着紙と誘引剤の保存期間は1年です。直射日光を避け、室温で保存して下さい。
冷蔵庫や40℃を越えるような場所での保管は品質劣化の恐れがありますので避けて下さい。

取扱い上の注意

- ・ トラップ本体は自然分解性のプラスチックでできていますが、廃棄する場合には、通常のプラスチックとして取り扱いするようにお願いいたします。
- ・ 誘引剤は殺虫成分を含んでおりませんが、誤って食べたりしないようお願いいたします。
- ・ お子様の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 誘引剤を取扱う場合、手袋等を使用し、直接手に触れないようお願いいたします。手や衣服に付着した場合は、洗剤等でよく洗浄して下さい。
- ・ 本品は発生予察用資材です。この用途以外には使用しないで下さい。



富士フレイバー株式会社

エコモン事業部

〒205-8503 東京都羽村市緑ヶ丘3-5-8
TEL:042-555-5186 Fax:042-555-7920
http://www.fjf.co.jp/jp/ecomon/
e-mail:serrico@fjf.co.jp

